

1. 件名：「東通原子力発電所1号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（81）」

2. 日時：令和4年6月30日（木）13時30分～14時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、  
馬場係員

原子力規制庁 技術基盤グループ 地震・津波研究部門：

呉 地震・津波政策研究官

東北電力株式会社 発電・販売カンパニー 土木建築部 部長 他7名\*

同 東京支社 課長\*

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり ※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・東通原子力発電所 震源を特定せず策定する地震動の評価について\*
- ・東通原子力発電所1号炉 コメントリスト（地震・津波関係）：審査会合

※資料「東通原子力発電所 震源を特定せず策定する地震動の評価について」には、「2. 地域性を考慮する地震動の評価」（P59～P101）が含まれているが、ヒアリングの対象は、「1. 全国共通に考慮すべき地震動の評価」である。また、2. については、ヒアリングまでに説明性向上のための記載の充実を行うよう伝達した。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それではお願いいたします。はい。資料の説明からお願いいたします。
0:00:05	はい。本日ですね、震源を特定せず策定する地震動の評価についてですけれども、そのうちですね全国共通に考慮すべき地震動について、
0:00:17	ご説明をさせていただきたいと思います。
0:00:20	それでその前になるんですけどもコメントリストをお送りしていたんですが、こちらのコメントの
0:00:30	4月11日の審査会合での地震のコメントについて、確認したいのかなと思っていましたんですけどもよろしいでしょうか。
0:00:41	はいお願いします。
0:00:47	はい、東部電力のクマガイですそれではお手元にコメントリストをあると思いますけれども、めくって13ページからが追加した部分になります。
0:01:00	13ページのS214から次のページの218というところが、今回、確認させていただきたいコメントとなっております。
0:01:11	214から217につきましては、内陸地殻内地震に関するコメントを記載しております。
0:01:19	214につきましては、断層長さの設定に考えついて、気象痕跡がないことを明確にした記載とすること、S215につきましては、SGFに加えて、
0:01:33	ハイブリッド合成法による地震動評価を実施した考え方を明記すること。
0:01:38	S216につきましては、下北半島地震のケース3、断層傾斜角について、長周期側の応答が大きい理由について記載すること。
0:01:49	S217は、下北半島に基づく地震の名称について検討すること。
0:01:56	次のページいきまして、S218が、内陸地殻内の地震の資料でありましたが震源を特定せずに関する資料を一部入れておりましたのでそこに、
0:02:08	エース江崎にてコメントいただいておりますことを記載しております。
0:02:13	1、枠は一つですけれどもコメントとしては、三ついただいております。留萌地震、留萌の地震について評価内容を詳細に記載すること、あと標準音スペックについては地震規模は6.9としておりましたけれども、
0:02:27	6.7.0にした結果を提示すること。
0:02:30	あと標準とピットにつきましてはガイドの記載に伴い、一応乱数のみならず実施、観測記録の位相を用いた無人ファアの検討を実施すること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:41	というところでいただいておりますのでこれをS218のとして一つ、コメントといたしました。
0:02:49	我々からコメントになり、関する説明は以上となります。
0:02:56	はい。何かありますか。
0:03:02	はい。特にはないんですが私1点だけで218番のところのガイドの記載に従っていうところは特に書かなくていいと思うので、そこだけ取っていただけますか。
0:03:16	はい。承知詰まっさガイドの記載に従い点というところまでを削除する形といたします。
0:03:24	はい。他にはないようなのでコメントリストについてはお互い合意ということでお願いいたします。
0:03:33	はい。本当にいただきありがとうございます。それでは続きまして本日の
0:03:40	震源を特定せずに関する資料の説明をいたします。右肩、資料番号、A1c A0108という資料を用いて説明いたします。
0:03:52	めくっていただきまして1ページ目、先ほど確認していただきましたコメントを記載しております。中身につきましては先ほど指摘ありました通り修正いたしますけれども、
0:04:04	今回特定せずにつきましては初めての説明となりますけれども、事前にコメントをいただいた等で、コメントを記載いたしました。はい。
0:04:15	この内容を含んだものとして説明させていただきます。
0:04:20	2ページ目が今回説明する指導の範囲ということです。今回
0:04:26	ぜひ、内容としましては全国共通のみの説明でありますけれども資料としては、地域性考慮する人等とワンパッケージで作っておりますのでそのような形となっていることはご了承ください。
0:04:40	で、3ページにいきまして、こちらが申請時からの主な変更点ということで、
0:04:47	まず左枠の申請時、2014年6月の申請内容、あと、東通につきましては2021年12月に標準応答スペクトルに関する補正をさせていただきましたので
0:05:01	そこからの補正、つまり、マグニチュードの6.9から7.0という関するところの見直しを今回しておりますのでこのような形といたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:10	まず、日英左上の申請、2014年6月の申請内容としまして審査し、震源を特定せずにつきましては、床等他スペクトル、応答スペクトルによる評価をしているというところでした。
0:05:23	あと次、2021年12月補正内容としましては標準応答スペクトルに適合する文字は一応乱数の位相特性六つ波で予定作成したということ。
0:05:35	あと経理特性は、マグニチュード6.9とか震源キロ10キロということで設定しているというものでした。
0:05:43	それに対して今回、ご説明する内容本資料という枠ですけれども、震源を特定せずという評価を大きく一つとしましては、全国共通に考慮すべき地震動ということで、一つ目の矢羽根が0モリの地震動評価を行ったというところでした。
0:06:00	二つ目が標準応答スペクトルによる評価を行ったということを記載しております。二つ目の矢羽根の括弧の2021年12月に提出した、申請書の一部補正の内容を、
0:06:13	一部修正というのは、6.9から7.0ということを表現したものです。
0:06:18	地域性に関する考慮する地震動につきましては、ちょっと飛ばしまして、その下のチェックブックチェックが入っている文章ですけれども、
0:06:27	申請時に評価した加藤ほか2004の応答スペックに基づく評価というのは、2014年6月申請時の基準地震動S s案を下回るため、今回参考扱いとしましたという資料にしております。
0:06:43	比較につきましては、後ろの103ページにですね、飛びまして、こちらの方で当初申請のS s案と、
0:06:52	当初申請にも記載しておりますけれども加藤古閑2004に基づく地震動の比較の図を示しております。
0:07:03	3ページに戻っていきまして、
0:07:07	今度は2021年12月補正内容に対する、変更点というところで、右下の枠です。一つ目の矢羽根が、標準音スペクトルに適合する文字に自身はにつきましては複数の方法で作成したと。
0:07:21	一応乱数の位相特性のほか、実観測力の位相を用いる方法によっても作成したということです。二つ目は一応乱数で作成した模擬地震版につきましては、包絡線の継続性に用いるマグニチュードを、
0:07:37	6.9から7.0に見直したというところが、変更点となります。
0:07:44	4ページは目次です。5ページから、全国共通に考慮すべき地震動評価という章に入ります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:54	7 ページいきまして、検討方針を記載しております。
0:08:00	左枠にはガイドの記載と、あとそれに伴って解釈の別記 2 の該当部分を記載しております。それに対して右枠、当社の検討方針ということで、冒頭ありましたけれども、ルーム
0:08:14	留萌の地震について佐藤ほか 2013 による評価を踏まえた地震動評価するという。二つ目が、標準応答スペクトルに対し、地震基盤相当面から解放基盤表面までの地盤増幅率を考慮した地震動を評価すると。
0:08:29	この二つを大きい系統方針として実施して参ります。
0:08:34	次、8 ページです。
0:08:37	8 ページが検討フローを示したものです。
0:08:41	左
0:08:43	庄野、左点線枠内が留萌の地震に関する検討のフローです。まず知見があって佐藤ほか 2013 による評価があり、それ以降の追加検討。
0:08:56	最後に最後に特定せずに、考慮する地震動ということですか。
0:09:02	右の枠が標準応答スペクトルに基づく検討ということで示された標準応答スペクトルに対してモリ人はを作成し、
0:09:11	地盤増幅特性を、を評価して最後に震度特定せずに、策定する地震動に考慮する地震動という評価の流れとしております。
0:09:24	9 ページからは、留萌地震に対する検討の内容を記載しております。
0:09:30	本書につきましては、先行プラントフォルダーと同じところがほとんどなりまして 10 ページから以降、同じところはですねさらいと記載、
0:09:41	しているということをご確認いただきまして、最終結果のところだけ説明させていただきたいと思っております。
0:09:49	10 ページからが、地震の概要となりまして、11 ページ、12 ページ、13 ページ 14 ページが観測記録について記載しております。
0:10:01	15 ページからは佐藤ほか 2013 の資料の説明になっておりまして、これが 21 ページまで、
0:10:11	他社と先行プラントと同じ内容と、図表等を記載しております。
0:10:20	22 ページからが、佐藤ほか 2013 以降の追加検討の説明となりまして、この記載の 101020304 につきましても、先行プラントと同じ内容となっておりますので、
0:10:35	説明は割愛いたしますが、これが 41 ページまで続きます。
0:10:46	41 ページが追加検討の最終ページになりますけれども、追加検討の結果、水平方向につきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:57	609、鉛直につきましては 306 G a l という基準地震動が獲られたという結果になっております。
0:11:06	42 ページが、では東通ではどのように設定するかという最後のページになりますけれども、その 609、追加検討によって獲られた 609306 というものがありますけれども、
0:11:20	これにつきましては二つの、二つ目の矢羽根ですけれども、P S 検層結果から獲られている港町の基盤層における S 波速度は、
0:11:30	938 メーター / s e c、P 波速については 2215 でありますけれども、一方東通につきましては、
0:11:40	解放基盤深度特性を代表する意見においては、S 波速度は 1300、P 波速度は 2200 となっております、
0:11:49	ここを 3609 G a l、306 G a l という結果は、地盤条件的にも、保守的、保守性のあるものとなっております。
0:12:00	ですが、他社プラントと同様でございますけれども、一番下の赤四角の囲みですが、震源を特定せず策定する地震動に考慮する地震動としましては、
0:12:12	さらなる補正を考慮し、水平方向は 620 ガル、鉛直につきましては 320 G a l の地震動を設定するというにしました。
0:12:24	その結果がさ、図表にしたものが 43 ページとなります。43 ページには、とは形と応答スペクトル、左側が水平方向、右側は鉛直方向となっております。
0:12:38	参考としまして、2014 年 6 月申請時の S s との比較を、布施 104 ページに記載しております。ここは図として単純に比較した図を 104 ページに載せています。
0:12:53	ここまでの、留萌に関する検討というところになっております。
0:13:00	44 ページからが、標準応答スペクトルに基づく地震動の評価というところ です。
0:13:07	4 月 11 日の内陸地殻内地震の会合でも大瀬一部説明しており、重複するところもありますけれどもをちょっと説明して参ります。
0:13:18	めくっていきまして 45 ページ。
0:13:21	表標準とスペックの概要と評価方針というところで、
0:13:27	植樹応答スペクトルは 2200、V S 2200 以上のところで定義されたものでありますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:35	変え東通の解放基盤表面相当の 5300 における地震動を評価するということ ところを記載して参ります。
0:13:43	で、真ん中の矢印の下の囲みですけれども評価方針としましては、標準 とスペクトルに適合した無人化を作成して、
0:13:53	地下構造モデルによって、解放基盤表面までの地盤補正を考慮する。
0:13:58	二つ目の矢羽根、審査ガイドを踏まえ、無為人は、制限はの重ねによる 位相を用いる方法、及び、実観測記録、位相を用いる方法により作成す るというところで、ここにコメントを反映しております。
0:14:14	次、46 ページですけれども、これは一番基盤相当面で設定されたスペク トルをモリが作りまして地下構造による引き上げを算定して、求めると いうところを図示したものでございます。
0:14:34	47 ページです。47 ページからは、一応乱数の位相特性を用いたもの自 身はによる評価ということで模擬地震評価の一つ目という位置付けで す。
0:14:46	一様乱数の位相特性持つ、無為人は振幅包絡線の継続性は、野田江藤 2002 の方法により評価しますけれども、そこに用いるマグニチュードは 7.0。
0:15:00	等価震源距離は 10 キロといたしました。7.02 に直した理由につきましては 下に記載しておりますけれども、
0:15:07	竹村、190 や金森池 7 から、
0:15:12	導かれる経験式と、全国共通すべき地震規模、6Mw6.5 程度未満との関 係から求めると、Mw6.5 の場合は、MR606.95 と。
0:15:26	あることから、M7 に設定したということ。
0:15:28	また等価震源距離 10 キロの設置につきましては敷地近傍というもの を、半径 10 キロ程度以内の領域で発生する地震ということで考えます と、
0:15:39	継続時間が長くなるのは、等価審議協議が遠い方が長くなりますのでそ ういった観点から、敷地近傍儒教という以内の中で最大の値を取れるも のとして 10 キロを設定したということです。
0:15:53	その結果が下に記載しておりますけれども継続時間としましてはTBの ところで 29.8 秒となります。なお、6.9 の時が 28.03 秒でございました ので、
0:16:07	1.8 秒長くなったということです。
0:16:12	続きまして 48 ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:14	こちらは、模擬地震はの作成結果というところで、適合度につきましては、
0:16:23	制約の基、基準を満たしたものとなっております。水平につきましては600ガル、延長につきましては400ガルという結果となっております。
0:16:35	49ページになります。
0:16:38	地盤と附属特性を考慮する地下に用いる地下構造モデルにつきましては、統計的グリーン関数で用いたモデルを用いることといたしました。
0:16:50	標準法とスペクトルは地震基盤相当面で定義されていることと、また
0:16:56	鉛直動につきましては増幅特性に影響を与える $V_p$ については特にガイド等で触れていないんですけれども、検討チームの報告書。
0:17:07	を踏まえまして、野田リトル2002における地盤基盤相当面、 $V_s$ 2200 $V_p$ 、4200以上の値を示す面としまして、
0:17:17	下の
0:17:19	Donnellの赤瀬のところですね、 $V_s$ 3340 $V_p$ 5800ということで、TP-2987.7点。
0:17:30	7.8メートルを、地震基盤相当面、
0:17:34	と位置付けましてそこに入力しまして、青線のところのTP2.0というところで $V_s$ 1300層のところ、出力するというところで、一番補正を行うこととしました。
0:17:48	50ページが、一応乱数の位相特性を用いた模擬地震は、の波を入力して出力した結果となっております。
0:17:59	その結果引き上げ結果、水平方向の加速度は553、鉛直方向につきましては348galとなっております
0:18:09	サポートスペクトルは図に記載の通りの結果となっております。
0:18:16	51ページに参りましてここからは二つ目の模擬地震を用いた検討ということで観測記録の位相を用いたモリ10月による評価という、
0:18:27	方向となっております。
0:18:29	まずは敷地における地震観測点位置、平面と深さ方向について示しております。
0:18:37	東通井澤原子炉建屋付近で1と同じ岩盤に審議を設置し、1994年の4月から観測を行っています。
0:18:47	観測記録を用いた未審査の作成にあたっては、右の鉛直の深さ方向の図ですけれども、最深部のTP-282.8メートルで獲られた観測記録を用いることといたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:02	52 ページですけれども、どの観測記録を用いるかというところの検討の内容になって参ります。
0:19:10	タイトルに①内陸地殻内地震の検討とありますけれども、一つ目の矢羽根です。結論から申しますけれども、東通では敷地近傍における規模の大きい内陸地核内地震の観測記録はえられておりません。
0:19:27	二つ目の矢羽根なんですけれども、まず、調べた結果について記載しましたけれども、信用距離 40 キロ以内、震源深さ 20 キロ以浅という、
0:19:38	ところ、あと地震規模M程度以上、4 程度以上と検索ということで抽出しましたが、
0:19:46	右の表にある通り、3 地震が抽出されております。いずれも、シューズは 3.94, 54.0 というところで、規模が小さい。
0:19:57	発生した位置は左の信用図の通りでございます。それらについてこれはですね、最新分 T P E - 208。
0:20:07	マイナス約 300 程度のところの記録の応答スペクトルを記載しておりますけれども、やはりいずれもMが小さくやっぱり長周期成分が不足しているかというふうに評価しております。
0:20:20	53 ページになります。53 ページは、等は、加速度は形を記載しておりますけれども、やはり
0:20:29	記録長としては長いんですけれども主要動としましてやっぱ数秒程度と短く、ちょっと
0:20:35	かなというふうに考えております。
0:20:39	54 ページになりまして、そ、
0:20:43	これ海溝型の地震に目を向けまして検討を行っております。
0:20:48	矢羽根読ませて付けますけれども、識字率適切な内陸地殻内地震の観測が獲られていないため、敷地に比較的近いプレート間地震まで対比を広げました。
0:20:59	なお、青森県藤沖では、M6 クラスのプレート地震、プレート間地震が発生しております。
0:21:06	二つ目、敷地の観測力を用いることは、敷地の振動特性及び敷地近傍の電波情報が反映でき、
0:21:13	規模の大きい地震を対象とすることは、観測記録の長周期成分の信頼性を確保できること、また、継続時間が長いこと目標スペクトルに適合する模擬地震はが作成しやすい利点があります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:27	三つ目、震央距離、100 キロ以内、地震規模 6m6 程度以上の検索条件をすると、右の表の通り 5 地震のプレート間地震が抽出されました。
0:21:39	左は震央図になっております。
0:21:42	この 5 地震のうち、模擬地震は作成につきましては、観測記録の位相特性に含まれる断層の破壊過程の影響を重視しまして、
0:21:52	震源距離が最も近い、ナンバー3 の、2012 年 5 月 24 日の青森県東方沖の地震、伴中と 6.1 の観測記録を用いることとしました。
0:22:06	めぐりまして 55 ページが、その 2200、2012 年 5 月 24 日の地震の、
0:22:14	エージーピーー 282.8 メートルの高さ、加速度は計及びその応答スペクトルを示しております。
0:22:24	なお、ご覧の通り、水平方向、N S 成分 E W 成分につきましては、防災がないということから、茂木が作成に用いる観測記録、
0:22:35	としましては水平方向については、加速度が大きい N S 成分を採用することといたしました。
0:22:43	56 ページです。
0:22:45	5、56 ページは、その観測記録を用いた文字化による、を標準応答スペクトルに適用する模擬人はの作成結果となります。
0:22:58	こちら表の適合度最小行動スベックと最小 1、S I 比につきましては弱を満足する結果となっております、
0:23:07	速度、最大活動も水平 600 鉛直度 400 となっておりますけれども、中段右の標準応答スベックに対応するもり人はの応答スペクトルという費用ところを見ますと、
0:23:19	先ほどの一様乱数の模擬事案に比べて、中周期体で特に注視期待でフィッティングばらつきが多少大きい結果になったかというところを記載しております。
0:23:34	57 ページになります。
0:23:36	57 ページは、次、地下構造モデルを用いて解放基盤表面位置に引き上げた地震動の結果について示しております。
0:23:46	水平方向は、最大加速度 534、鉛直は 353 となります。先ほど一応乱数が水平 553 鉛直が 300、
0:23:59	143 ということでほぼ同じような加速度というふうになっております。
0:24:05	58 ページなりまして、こちらは今、評価しました観測記録の位相を用いたものと、一応乱数の理想特性を用いた方法の応答スペクトルの比較重ね合わせの図となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:21	山根一つ目、応答スペクトルの比較では、一応乱数の位相特性を用いた方法と、有意な差は見られません。
0:24:30	両者に有意な差が認められないということと、先ほどフィッティング状況、ばらつきを見ていただきましたけれども、これにつきましては、一応乱数の位相特性を用いた方がばらつきが小さいということを踏まえまして、
0:24:45	標準応答スペクトルに基づく地震動としましては、一応乱数の位相特性を用いた模擬地震はで代表するという事で考えております。
0:24:54	3、こちらも参考としまして2014年の申請時の基準地震動S s ワンとの比較というものを、105ページに記載しております。
0:25:09	ここまでで、全国共通で考慮する地震動につきましては、58ページまでで、以上でございます。
0:25:18	以上で説明終わります。
0:25:20	はいありがとうございますじゃ審査側で何か確認事項があれば、順次お願いします。
0:25:28	佐藤ですけども。
0:25:30	とですねまずルームの地震ですけども、これはもう、
0:25:35	女川でも説明を受けたしそれからもう先行サイト、サイト何社かやっているんで全くおなじなんだけど、
0:25:44	要するに620と320エイヤーで挙げたやつをそのまま使いますという、こういう説明ですねそうすると、
0:25:52	あまり609とかにはこだわらず、もうエリアの
0:25:56	620にするっていうそういうそういう考え方でよろしいですね。
0:26:02	はい。東北電力の熊谷です。
0:26:06	冷やというところあれですけども経験等に基づいた609603、そのままというよりやはり保守性を見て620、320としたものとしております。以上です。
0:26:19	はい、佐藤です。9電はエイヤーと言っているんで、
0:26:23	これ議事録にもちゃんと残ってますから、
0:26:26	それでね一つだけ聞きたいんですけど42ページに、これ。
0:26:30	えさ速度とP波速度ってあるんだけど、
0:26:34	コピーは速度も一応御社としては何か勘案してるんですか。
0:26:40	これ、後の東北電力の熊谷です。はい。やはりS波速度とP波速増、両方。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:51	609 と。
0:26:54	306 の時点でも
0:26:57	両方とも大きいので保守性があるという説明になりますけれども、
0:27:01	両方とも大きいんで、さらなる補正を考慮してというところに繋がっているという説明になってると思います。うん。保守性っていうのはね、ちょっと言葉は非常に便利な言葉なんだけど、
0:27:14	この V s と V p の、
0:27:16	これ。うん。使うにあたってさ、比較するにあたって V s もそうだし V p もそうだからっていう言い方をするのか。
0:27:25	それとも V s がメインで比較するべきなんだけど V p もちなみに参考として見てみましたっていう言い方にするのか。
0:27:34	どっちですかこれ。
0:27:36	V s と部位かつ V p も、
0:27:39	何ですか。
0:27:45	はい。東部電力でちょっと少々お待ちください。
0:27:57	東北電力の樋口でございます。
0:28:00	えっとですねまず
0:28:03	思いと標準応答スペクトルと二つあって、
0:28:07	標準応答スペクトルの方は V s V p 両方当社としてこだわっているっていう感じ。はい。鉛直動も当然同様にやってるかなということなので、
0:28:17	留萌のそういった全体パッケージの中で見るとやはり V p もこだわるところが一つ辻にしてあるということと、
0:28:26	阿藤サトウほか 2013 のですね検討の追加検討で、最初 9 電さん一生懸命やってたわけなんですけど、
0:28:36	鉛直動の検討に関してもコメントがついて、種々やられてたというのがわかってましたので、そういった意味でも V p のところには多少こだわりを設けて鉛直動のところも大事に、
0:28:50	V P をちょっと確認しているという認識でおりました。以上です。
0:28:57	わかりました。V p も勘案しているっていうそういうことね。
0:29:03	はいそうです。
0:29:05	ちょっと先に行きますよ。
0:29:09	標準応答スペクトルの話で 47 ページね。
0:29:14	47 ページは、これも先行他社何社かやってんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:20	さっき何秒、6.9 から何ぼ継続時間延びましたとかなんか言ってるので、それは前の例えばテーブルもなんか参考に載せるとか、
0:29:30	行楽は形の掲示変化も前よりこんだけ伸びましたみたいなことを、
0:29:34	追記していただいた方がいいのかもしれませんが。
0:29:40	それから、次なんですけど、いいですかそこは、
0:29:44	はい、承知。
0:29:47	それから 49 ページね。今と同じ議論なんだけど、
0:29:51	これもね御社地震基盤相当面ちゅうことでV s が 3340 のところに入れてるんだけど、
0:30:01	定義に従えばね、2200 以上に入ればいいのもうちょっと浅いところに入れても別に悪くはないんだけど、
0:30:09	一方さっき言ったようにV p も勘案していますっていう考え方を、やっぱりここでも踏襲してるわけね。
0:30:17	検討チームの報告書を踏まえてV P 4200、だからこれV s が 2200 でV p が 4200、
0:30:25	かつなんだよね。
0:30:26	両者の条件を満たすところこう入れてるんだけども、
0:30:31	ここの考え方も、
0:30:34	やっぱりさっきの、
0:30:35	レモンと同じ考え方でV p も勘案しているってことね。
0:30:41	はい。その通りです。
0:30:45	なぜですか。いやはV s 2200 だ。
0:30:50	何ていうかな、うちのなんて、
0:30:55	基準開先所解釈とかに基づけばねもうちょっと浅いところでも悪くはないんとは思っているんだけど、
0:31:05	御社だけこうするとね後に続く者もこうしなきゃいけないみたいなことになる可能性もゼロではないんだけどね。
0:31:12	東北電力の樋口でございます先行プラントの地盤モデルもすべて見まして、このV p は各社さん、ちゃんと、4200 は、
0:31:22	持ってらっしゃって、持ってるからあえて言ってなかったのかなというふうな解釈はしてました。ただ東通の地盤で今私どもも、2390 っていうところに入れるっていうことも最初考えてはいたんですが、
0:31:37	やはり経験式の適用範囲っていうところは非常にこの審査ガイドの中でも大事に語られているところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:46	やはり今回の検討チームの中身を見る限りはやはりそこはとても大事にした方がいいだろう、また標準応答スペクトルもちゃんと分、鉛直動として出しているというところはとても大事なところだと私たち認識しているので、
0:31:58	andとしてVS、VP&としてやはり考えるというのが筋じゃないかというふうに考えたということであります。以上です。
0:32:10	はい佐藤です。
0:32:11	ちょっと我々の感覚とねちょっとここはね、ちょっとそごがあるような感じがしますねなんかね、少なくともANDではないような気がしますしそれから潜航もそんな、そんなやり方で審査してるわけではないのでね。
0:32:25	一応もうここはちょっと我々と温度差あるかなと思います。
0:32:30	考え方はわかりました。
0:32:32	ちなみにこの表、検討チームの報告書を踏まえて、基準規則に反映をしているので、
0:32:40	あえてここから引っ張ってくるっちゃうのもねどうかなっていう感じもしないではないんですけどね。
0:32:47	わかりました。
0:32:49	あとは、
0:32:52	あとはね。
0:32:55	観測記録実管記録と比較しているところで52ページですか内陸地殻内は、
0:33:01	規模ちっちゃいで使える自信はありませんでしたっていう説明なんだけど、
0:33:08	54ページで、さらば海溝型の地震に着目して、2012年5月24日のこの記録を使いますってことで55ページに、
0:33:21	記録とスペクトル書いてるんだけど、
0:33:24	それで、これを上に上げたときに、58ページですか。
0:33:32	一応乱数等比較した時にどっちもほぼほぼ同じぐらいですよと言って、ターゲットスペクトルに対するフィッティング状況は、一応乱数の方がばらつきがちっちゃいですっていうのを根拠に、
0:33:46	最後その位置を乱数の方採用しますっていうこういうロジックなんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:51	これ今まで何社かやってきたんだけど、多分そういうことで一様乱数を採用している。
0:33:58	車はなかったと思うんだけど、
0:34:01	ここのそのどっちを選びますかっていう理由がね、少し希薄なような感じがするんだけど。
0:34:07	この辺は何か。
0:34:09	東北電力で議論あったんですか。
0:34:19	はい。東北電力の樋口でございます。すごくこだわりがですねえ、先行プラントさんとはちょっと違うところがあって、今佐藤さんがおっしゃられた、結構その辺のこだわって検討されてる者さんもあったと思うんですけどそういったところはS sとして採用されるようなサイトということで
0:34:39	施設への影響というところを非常にポイントにおいて、ご説明されたりすることもあったかと思いました。
0:34:47	先ほど参考資料の方でご説明してましたけど、105ページなんかのところ、もうもともとの申請でもそうだったんですけど、
0:34:56	S s一位にですね、私たちは十分余裕を持って包絡できてるような評価結果でしたので、そもそもここに対してのこだわりはなくて量、両方併記でもいいなって思うぐらいのところ、まずベースにあって、
0:35:11	かつじゃどチラーを一つ残すかといえば、あえて言えば、一様乱数のの方がいいんじゃないのかというような形でございます、
0:35:21	5月期というのは先ほど熊谷が説明しましたように応答スペクトル比見ると、非常にやはり兎相の方はばらついて、そういったところを見ればですね、一応乱数の方がいいだろう。
0:35:34	あえて言えば、付け加えて書かせてもらっても構わないんですが、揭示特性を見たときに、大きい加速度が出ている行政なんかも、
0:35:46	やはり一応乱数の方がナガイのナガイですので、
0:35:50	も、もし不足であればそういった内容もお書きすることができるかと思ってます。以上です。
0:35:57	、ナガイです。規制庁長井ですけども、ちょっとそういう意味で聞き直す。
0:36:02	聞いてみたいんですけども、どっちも変わんないって言った月スペックに対するフィッティング状況っておっしゃるんだったら、これからま

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	た別にターゲットスペクトルを作ってそれからもう1回もいい地震を作るというやり方もあるかと思うんですけど。
0:36:15	そういうふうになればよりターゲットスペクトル近づけることができるんじゃないんですかね。
0:36:20	いかがですか。
0:36:26	閉会できるヒロタニですすいません今のご質問の1回ちょっと趣旨をご確認させていただきたかったんですけど、我々実を数記録を使ったものに関しましては、
0:36:37	磯は全くいじってなくて、本当に振幅だけを、
0:36:42	繰り返したいたりして納めてるわけですけども、
0:36:46	それをもちょっと、
0:36:49	より、
0:36:51	もう1回違います解放基盤で国会か通行を楠田方がもちろん、
0:36:58	ターゲットがよくなるんじゃないかとそういう、
0:37:00	後収支の質問でしょうか。
0:37:02	ちょっと私も言葉少な目です。
0:37:04	だったかもしれないですけどこの58ページで示されてる解放基盤表面の評価結果を使って、
0:37:13	何て言えばいいのか標準応答スペクトルに合う解放基盤でのターゲットスペクトルになるようなものを作って、改めて解放基盤表面での地震をつくれば、
0:37:25	御社のようなフィッティング状況が良いものってさらによりつくれるんじゃないんですかねってことです。
0:37:31	そういうことは考えなかったかどうかだけでいいです。
0:37:35	お答えとしては、
0:37:38	はい。蛭田委員ですけどちょっともともとガイドでガイドといいますか基準ガイドで示されてるのが地震基盤で定義されてるのが表情とスペクトルだということですので、
0:37:49	まずそこに適合した母屋を作るってのが、
0:37:52	基本ベースになるとは思うんですけども、
0:37:55	解放基盤で先に作ってしまうっていうお話だったんでしょうか今、ちょっとそこをよくすいませんそういうことではなくて評価結果を用いて、
0:38:06	この58ページで示されて評価結果を用いて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:10	そのフィッティングとかお考えであればね、これのフィッティングとかを考えるのであれば、ここでもう1回フィッティングこの丹今出てきた応答スペクトルをもとに、これをターゲットスペクトルにして、
0:38:22	改めてV地震を作ったもっとフィッティング上がるようなものができるんじゃないかっていうふうに思えるんですけど、フィッティングを重視するのであれば、
0:38:30	今の話あれですヒロタニですいませんと手順として、例えば地震基盤で定義されてる応答スペクトルになりますけども、それに例えば、地盤の増幅率の伝達関数みたいなやつを掛けたものを、それにターゲットとして作り直した。
0:38:46	それに合わせるように作った、作るっていう手順が考えられる。
0:38:50	その方がよく合ってくるんじゃないかというそういうご質問。
0:38:53	うんそうそういう考え方もありますよね。ターゲットのフィッティングを重視するっていうのであれば、
0:38:59	はい確かにおっしゃる通りそういった考え方もあるかと思います。
0:39:04	ただ、ちょっと今回、評価とスペクトルは何ていうかね、フリフリじゃなくて本当は応答スペクトルとして提示されてますので、やはり
0:39:15	上昇計算させる云々にあたりましては1回それを周波数領域に置き換える、まあ、言ってみればもう家をそこでやっぱり1回作るっていう方が、やはり我々自然だと思ってるので、
0:39:26	他プラントもよくやられてるようなそういった手順に従って今回我々もやったということが、
0:39:32	はい、わかりましたじゃちょっとそれはここで行きたいと思います。鈴木サトウの方のね要するにターゲットスペクトルに対するフィッティング状況は理由になりませんっていうそれだけなんですけど。
0:39:43	コメントしておきます。これ理由になりませんっていうだけです。
0:39:49	すいませんね圧倒今日ん。
0:39:52	樋口さんからね、申請ベースの基準地震動 $S_s1$ を下回るので結局両方選んでも構いやしませんよっていう話あったんだけど、
0:40:02	いやそれはもう基準地震動になるかならないかってのはまだこれからの話なんで、
0:40:08	これ申請ベースであくまでこれ下回ってるっばいんだけど、
0:40:12	それは、
0:40:14	これから決める話作る話なんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:17	S sになるかもしれないしいやならないかもしれないしそれはわかりませんよねまだね。
0:40:24	だからそういう議論をちょっと持ち出すのはちょっといかがなものかなというふうに思いますよ。
0:40:30	あと 103 ページとかにもう加藤スペクトルとかなんか言ってんだけど、もう葬りされてるようなもんですから加藤スペクトルって、もうなんかこれより下回ってますって言われても、
0:40:41	根井なんか、扶桑なんだで、いや、私は何かあまりこの加藤スペクトルはもう葬りされてるもんだと思ってるから。
0:40:50	これと議論する意味はないし、
0:40:53	と思ってるんですけどね。
0:40:54	なんかこの辺はどうなんですか。こだわりがあるんですか。
0:41:00	東北電力のヒグチですはい、承知しましたと申請時のS sの比較ってのは、佐藤さんも全くおっしゃる通りと思いますし私たちが今までの審査を受けてきてそういう理解しております。なので今回も参考としてお出ししているものであってしっかりと正式
0:41:18	当初の方には出していないというところです。
0:41:22	加藤スペクトルも全く
0:41:25	佐藤さんのおっしゃるような理解で私たちもいるんですが、
0:41:28	やはり新生児がすごく8年くらい前と古かったものですから、新生児私たちは加藤スペクトル使ってますね申請していると。
0:41:39	いうのがまだ生き残ってるものですから、一応こういった書き方をさせていただいて申請時からの流れとしてちょっと作らせていただいているところだけはちょっとご理解いただけたらと思います。
0:41:50	以上です。うん。サトウですこれどっかでどっかで葬り去らないといけないですよ。どっかの断面では、
0:41:57	はい。本来をもって、そういう方向に持っていきたいと思ってました。
0:42:03	あとねこれ参考資料でもし入れるんだったら、この前1月11日に審議した内陸地殻内と比較するなら比較する方が、
0:42:16	我々としては見やすいかなと思うんだけどね。
0:42:20	そういう意味で前回内陸地殻内の、いわゆるその下北半島の高速度層の高まりを模した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:29	地震動評価やっていただいたんだけど、その時にその標準応答スペクトルもレベル感として見たいんでっていうことで両方審議したつもりだったんだけどね。
0:42:40	なので参考とし得るんだったら、多分そういう感じにしてもらった方が、我々としてはいいのかなって思ってるんですけど。
0:42:50	はい。東北電力樋口です。佐藤さん趣旨了解しました4月11日の審査資料を、また何て言いますか再掲するような形になるかと思えますけども、
0:43:01	付けさせていただく参考としてつけさせていただきます。以上です。
0:43:07	よろしく申し上げますちょっと今日のお話ではねさっき言いましたけども、58ページではやっぱり
0:43:14	これ、どっちを選びますかっていうところの、
0:43:17	ちょっとこの理屈がね、ちょっと薄いなっていうのと、
0:43:21	それからあとは
0:43:23	V P P V s、V pも勘案してますってところはね、そこはやっぱりちょっと、
0:43:29	明確に
0:43:32	説明をしてもらわないといけないかなと思うんですけどね。
0:43:36	ちょっと私からこの2点です。以上です。
0:43:39	はい、承知しました東北電力の樋口ですV Pのところをもうちょっと手厚く、ちょっと追加で書かせていただくということをね、ちょっとここではお願いしたいことと後は代表性の話ですね、標準応答スペクトルの方の
0:43:55	については先ほどちょっとお話しましたけど継続時間とかも、他社では出てましたので、その辺も私ども、どういうふうにお書きできるかというのをちょっと追記させていただけたらと思います。
0:44:07	よろしく願いいたします。
0:44:14	規制庁の宇田です私から、さっきの佐藤からのコメントを考えると56っ ちゅう。
0:44:22	配置の方ご覧ください
0:44:24	何かフィッティングのばらつきを多少大きくなった。これ定性的悲しいか夏を見ると、
0:44:30	どっちが大きいかわかんないじゃないかちょっとパートを見るってことですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:34	その資料として何かあまり感覚だけ書いてるという。
0:44:38	感じてますね。結果的にさっきのコメントが採用しないからでも最初なくても、
0:44:45	これの決裁として、
0:44:47	体制を組んだけど、
0:44:49	夏だけ見る判断適用とかちょっとピンと思います。
0:44:53	頭んと、こっちは中は、1ページの方で、
0:45:00	今回の方はですね基盤が見等がストーリーの地番結構精度あるの一番、
0:45:06	モデル構築して、結果的に、丹関の方が、
0:45:10	谷川の方が研修員が弱いですね
0:45:13	ちょっと、
0:45:14	多分菊花ここつうか、見るあまりわかんないですけど、
0:45:21	引き明け前と、
0:45:23	最後の結果どのぐらい下がるかどうかちょっと、
0:45:27	教えていただいてあれ多分、
0:45:29	今日、天台的小さくならないですね長時間あっとか単純は何か特徴あるかちょっと簡単で教えていただきたいと思いますが、
0:45:39	はい、東北電力樋口です最後のご質問にお答えしたいと思いますけど、
0:45:44	今宇津さんがおっしゃられたように短周期側、若干ですね数、
0:45:49	数1割ぐらいですかね、小さめになってまして、ただ長周期側、
0:45:53	はですね逆に大きくなってることになります。両方見比べておいていただけるとよろしいんですけども、やはり東通の地盤の特性というのが出ていて、周期によって、下がるところもあれば上がるところがあると。
0:46:09	全体として数は1かも見たことありましたけども、全体的には大きくなっているというような認識で言いました。以上です。
0:46:22	ありがとうございます。同じく、以上です。
0:46:29	すいません。規制庁仲村ですけども、まず1点確認したいんですけども、
0:46:35	52ページの内陸地殻内地震のところ、
0:46:43	地震選ぶところで震央距離40キロ以内、震源深さ20キロ、
0:46:51	伊勢ってなってるんですけど、
0:46:53	これは何かこう、理由があるんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:58	その 48 ページです。はい。東北電力の熊谷でございます。本来であれば地震近傍ということで、10、20 という以内で、
0:47:09	田巻さんですけれどもらいというのとあと、この長期実は、内陸地殻内地震の要素地震探しに使った条件と同じものでありますけれども、
0:47:21	同じですけれども 20 以内にないのでもう少し広げて、エリート 40 以内で探したというところでございます。以上です。
0:47:30	わかりました。ちなみにですけれども、先行サイトの話は見られてると思うんで、わかってると思うんですけど、例えば 6 ヶ所のところという
0:47:41	と、
0:47:41	内陸地殻内地震選ばれてて、それは、
0:47:46	ここでは、この三つの地震に入っていないというのは、
0:47:50	ちょっと位置関係がはっきりわかんないんですけど、これ多分 40 キロよりもちょっと遠いから入っていない。
0:47:57	ということですか。
0:48:04	東北電力の樋口です原燃さんの資料も見させていただいてます多分 1999 年の地震だったかと思えます M4 だったかと思えますけどその記録を使っ
0:48:15	てたのかなと思えます。セット六ヶ所ですね、資料見ると、96 年とか一応観測はされてるのかなと思ったんですけども、
0:48:27	ただ
0:48:29	はい、もう一度しっかり確認はしますけれども私どももちょっとその辺気にして観測リストを見てたんですけども、六ヶ所さんが採用してたやつは、まず引っかけかかってきていないっていう監査記録がまずうちにはなかったっていうのはまずい。
0:48:45	円
0:48:55	もしもし。
0:48:57	今しゃべってないですか。すいません。
0:49:00	すいませんちょっと
0:49:03	音声途切れてしまってすみませんでしたちょっと原燃さんの資料も拝見させていただいて、そのリストもうちの観測記録と比較してたところがあったんですけども、
0:49:14	まずうちの観測記録のリストには原燃さんが採用したものは無いということです。トリガー遠くてトリガーがかからなかったのかまたは地震計のメンテナンス期間中で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:25	偶然取り逃したのかとかいうのはちょっと古い地震だったので、まだ確認はできていないんですが、
0:49:31	すまズないってことはもう、これはどうしようもないなと思ってる ところす。以上す。
0:49:38	はい、わかりました。原燃の六ヶ所の方は、
0:49:43	敷地に近いっていうのと、マグニチュードは 4.3 なんて、そんなに大きい ものではないんですけども、何で選ばれてないのかなと思ったのがち よっと疑問があったから確認しました。
0:49:56	それは以上す。で、もう 1 点は、これすいません、確認とか、
0:50:02	ではないんですけどこれ個人的なところも含めて教えてもらいたいんで すけども。
0:50:08	58 ページで、
0:50:12	一応乱数と実観測のやつこう比較して並べてるんですけども、
0:50:19	全くこう、
0:50:20	個人的な感想なんですけど全く違うようなものを選んでやり方でやって て、
0:50:26	ここまでなんで一緒になるのかなっていうのは、ちょっと気になったん ですけど、それはちょっと確認とかじゃなしに教えてもらえますか。
0:50:37	何かそういう理由とかがあるのかなあと思ったんですけど、他のサイト の見てると、中尾長野顧問にほぼ似てるんですけど、違う足せ+
0:50:47	他社のサイトで見ると、そこまでに出不いようなものがあったりとか で、
0:50:52	結構この 58 ページ見てると、
0:50:55	両者が似てるってところで何かあるのかなと思ったんですけど。
0:50:59	ちょっと教えてもらえたら嬉しいす。
0:51:13	はい。東北電力の熊谷す。ちょっとすんは知らせたちょっと他社さんの 磯。一応乱数二つの無人化がちょっとただ値が違うとおっしゃってる ところはちょっと把握しておりませんけれども、
0:51:28	我々としましてはまず、やっぱ標準と S P E C T にかなり製造適合させ ているというところとそれを増幅させても、
0:51:38	やはり同じような増幅特性で引き上げたので同じような形になっている というように認識ではありましたけれども、
0:51:47	あと、今回内陸地、内陸地殻内を仮に選んだとすれば非常に短い継続時 間の中でというところだったんすけど、今回はプレート間選んで非常に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:01	継続時間ナガイというのもあってばさういう、
0:52:04	ところもあるのかなとは思っていますけど基本的にはやはり、起振基盤のところ、しっかり二つの議事は、適合度よく合わせられているので、それを上げててもそこまで変わらないのかなという認識でございました。はい。
0:52:20	はい。楽ナカムラです。ありがとうございます。
0:52:26	あとですけどちょっと二つ補足しますと原燃はね、内陸地殻内の要素地震で使っている地震は、
0:52:33	99年の9月13日のMj4です。
0:52:37	補足情報ですあともう一つは、何で適合度、いいんです適合度っちゅうかどっちもその58ページコンパラぐらいの結果になったんですかっていうのはそれなりにその49ページの
0:52:50	構造地盤
0:52:51	構造モデルがそれぞれ層に最もらしくその、一応求まっていると決まっているってことなんじゃないですかね。私はそう理解してるんですけど。
0:53:02	それかつ特異な移送が自信はないということだと思うんですけどね。
0:53:07	その両方が重ね合わな限りはそんな綺麗にあるってことはなくて、何か特異な位相で構造モデル反応するような場合に、その特異な位相に対して何らから起きてるっていうのは、
0:53:18	他のところでここはそういうものが偶然にもなかったじゃないですか。うん。私もその通りだと思う。全く。
0:53:27	このヒロタニです。あとは、私の個人的な感想かもしれませんが、やはりプレート間の継続時間のナガイっていう波、女川でも、3.1地震の、
0:53:38	記録使ってましたけども、継続時間が長くて兵頭が長いとですね、その振幅調整だけで結構合ってくるってのありますけども、それが短い波ですと、とてもそこまでいかない、幾ら繰り返したたいてもいかないっていうのは、実際的にはあります。はい。
0:54:00	すいませんナガイですけど私が聞きたいところほとんどをサトウナカムラ上に言われてしまったんですけど、その資料の
0:54:08	適正化とかっていうんでちょっと3点ほどお願いできればというのもあるんですがまず思い、こっちは重要なんですけど、2本院の最後のまとめの図面43ページで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:21	これ言うかそれとも別の図面作るかお任せしますけども、この 620 討議する前に 609 と並べた図面ってつくれませんか同じ図面に一緒になったもの。
0:54:35	はいちょっと掲載方向は検討いたしますけれども、609 と、それに対する 306 の図も同様に準備するということで入っていただいて、同じ図面に、応答スペクトルの、
0:54:50	トリパタイトに載せてもらう二つを書いてもらうってということ、重ねるということですねどれくらい保守的、載せているかがわかるような図面が欲しいと。
0:54:59	はい、承知いたしました。
0:55:03	あとはこれ我々審査と実際に事実というところの、
0:55:09	整合をとるためというところで、2 ページ目のフローでもし今後このフローを使うのであれば、
0:55:15	地域性と全国共通を縦に並べずに横に並べてもらえますか。
0:55:24	申し出る意図がわからなければ、意図を説明しますけど、
0:55:34	はい承知いたしましたはい。縦に、
0:55:38	縦にいつか横に並べたという方がいいんでしょうけれども、はい。そうですねとか対応プレート内と同じような位置付けで並行しちゃってそれが基準地震の流れなので、
0:55:48	縦になるとちょっと意味合いが違ってしまいますので、ということです。
0:55:53	はい。趣旨、理解しましたのではい。はい。そのようにいたします。
0:56:00	あとは完全セイリガクなんで 3 ページの方も、下の二つに表題がついて、パッと見地域性の話がずっと続いているのかなって見えてしまったり、ちょっと誤解を招くような表だと思うので、ここはちょっと、
0:56:12	もうちょっと、どちらかを充実とかに任せますけども、どちらか左側か右側どちらを重視して鍋か任せますけども、
0:56:21	できるか、同じものは同じところをまとめるようにしてもらえると、後で見やすいと思います。
0:56:28	はい。コメントいただきありがとうございますこちらも海やすさとか理解のしやすさ踏まえて再検討いたしたいと思います。
0:56:38	全国共通の全国共通で同じように 1 塊になるように並べかえるとかまあ、そこのやり方おまかせしますけどもこればっから見地域性がずっと下まで続いているように、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:49	括弧書きをつける性が余計と大きく見えてしまうので、そこを整理をお願いします。私から以上です。
0:57:06	そうですねあまり田坂どうなんですけどこっちの2ページ方の方で、
0:57:11	こっちのページの何か三つの基地の所見が、一番右の方がこっち4倍と比べて、ご自分たちの表の方はですね最大加速度ありますね。
0:57:21	同じ図だったら同じ表にした方がいいかなと思いますね。
0:57:26	はい。すみませんありがとうございます、54ページ。はい。2の表と同じく52ページの表にも、最大加速度の欄を記載して、同じ章にしたいと思います。ありがとうございます。
0:57:54	規制庁の大井ですけど、ちょっと皆さんを、もしかしたらわかってることかもしれないんですがちょっと教えていただきたいくて、
0:58:01	これって地震基盤相当面っていうと、
0:58:06	49ページで
0:58:09	深いところに設定されていてそれを控基盤まで引き上げるという手法を使われてると思うんですけど、観測記録の
0:58:16	観測された、
0:58:18	ポイントってというのは280、
0:58:21	マイナスにはP P B -282.8メートルでの観測記録であって、そのあとどうやって
0:58:28	1回引き戻してまた上げたってことなんですけど、引き戻すというか、下げて上げたってことなんですか。ちょっとすみません、教えていただけますか。
0:58:36	はい。はい。東北電力の前です。事実関係としましては282.8で、観測された記録、
0:58:46	記録を用いて作った模擬地震は0-3000のところに入力しているというような理解でお願いしたいと思うんですけども。はい。議事
0:58:59	ハケを使って作成して、
0:59:03	下に入れたということですね。あともう一つですけど、この
0:59:08	江藤宇井数2200以上っていう定義すると-282.8メートルのところ、49ページのところ、こういうところに入れて引き上げたっていう、何かそういう
0:59:20	計算はしてるんですか。
0:59:22	してきているとかそういうことあるんでしょうか。
0:59:28	はい。碓井現在としておりません。はい。以上です。はい。伊勢。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:36	282 と 8 の面に入れてということは計算しておりません。
0:59:43	はい。わかりました。
0:59:45	私から以上です。
0:59:55	はい。すいません規制庁のイワタですけれども細かいことで恐縮ですけれども 3 ページ。
1:00:01	申請時からの主な変更点って書いてあるんですけども、手続き上特に変更してるわけではないので、これはね中身としては、これまでの審議等を踏まえてその申請内容に対して反映した事項ってそういうことだと思うので、
1:00:15	そういう書きぶりにしていただけますか。
1:00:18	はい。藤電力でございますはい。プロ使い方、あれ、修正しています変更ではなくて、これまでの審議を踏まえた反映というような趣旨で記載いたします。
1:00:30	はい。あとはですね先ほどもちょっと議論があったんですけども 12 ページ。
1:00:36	ですですね 0 モリのところで、やはり加藤スペクトル 121034 ですかね比較があるんですけども、これ多分、他でも書いてるんで書きました申請には書いてあるんでっていうことだと思うんですがもはやこれは多分全く意味がないので、
1:00:49	私はこういうのもいらないと思うんですねむしろ先ほど 2 ページで整理をして、
1:00:54	コメントありましたけれども、
1:00:57	全国共通に考慮すべき地震動というのも基準上もですね、留萌と標準応答スペクトル二つを見なさいということになってるので、もう、
1:01:06	ここはもう、
1:01:07	ね、すでに皆さんご理解されてる上で書いてるのかもしれませんが、帰ってない方がいいんじゃないかと思いますが、
1:01:27	本当に
1:01:29	はい、東北電力の樋口です。すいませんちょっと即答できなくて、あれだったんですけど、ちょっと私たちが背負ってきて加藤スペクトルっていうのを一つのベンチマークにしてそれ大きい小さいっていうところを大事にしてきた経緯があります。ただ、
1:01:43	確かに今岩田さんがおっしゃられたように、基準ですね、もう留萌
1:01:51	の指名という形になってますんで、す。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:54	あとスペクトル大きい小さな関係ないでしょというのも理解しているつもりです。ちょっと今私たちその申請時にはもう加藤スペクトルを入れてたというところもありますし、全体としての繋がりとして加藤スペクトルを、もうちょっとす。
1:02:08	書くべきかどうかっていうのをちょっと考えさせていただけたらと思います。すいませんちょっと。
1:02:12	まだ答えがなくて申し訳ないんですがおっしゃってる意味は理解しましたのでちょっと考えさせていただければと思います。ぜひ前向きに検討していただくことを期待します方、加藤スペクトルはねもうもはや多分出てこない、いらぬというのはいわゆる
1:02:25	理解なので改めて申し上げますがそういうことだと思います。あと 42 ページこれも先ほどね、議論がありましたけれども P 波を見るんですかっていうのはむしろ標準応答スペクトルの方の、
1:02:37	考え方で見ていただいた方がいいのかもしれないのでそれは何ページだったっけ。
1:02:44	50
1:02:46	49 ですかね。49 ページで、
1:02:49	定義の二つ目の矢羽根で書いてあるところなんですけど、標準応答スペクトルは、V s 2200 以上で定義されている云々かんぬんで、なんですけどもこれはね、多分書き方として逆に報告書があってそれをベースに、
1:03:04	標準応答スペクトルが V s 2200 で定義されたので、またねその先祖返りをしてチーム報告書を引用するっていうのは何か違うんですよ。
1:03:14	なので御社言ってることは大体わかった、理解はした、しましたけれども多分、ここでこういう日本語というのは、ちょっとおかしいので、これは少し見直していただいた方がよくて、あくまでもね基準への適合性という観点ではその 2200 以上という、
1:03:30	ところを見ておけばいいということにもう決まっちゃってるんでね、それさえ見とけば我々多分 0 なんですよ。V p が幾つかってところは、これまでも議論もしてないので、そこはねやっぱり
1:03:40	あえて見るとしたら、V p についてもこうでしたっていう、むしろ一段階低い扱いだと理解しています。なので
1:03:50	先ほどおっしゃっていたようなことを書いていただくのかもしれませんが、
1:03:54	ただそこをその基準の、への適合性と混在するようなね書きぶりは私はよろしくないんじゃないかと思います。そういう意味で本来は、多分、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	先ほどから議論があるのかもしれませんがV s 2390 のところに入れて、
1:04:07	評価しておくのが一般的な多分やり方でそれさえ示していただければ本来基準への適合精度の確認できるわけですね。なおかつその観測記録についてもねこれ先ほど大井からもありましたけども地震観測点ってまさにここなので、
1:04:21	要は同じようなところでね、ちゃんと見るというのがですね、より何か、わかりやすい比較なんじゃないかなというふうに思いました。ここはどういう資料を修正するかによって、
1:04:32	きちんとした議論というのは審査会合でさせていただきたいと思います。
1:04:36	あと細かい話ですけども 52 ページ、先ほども少し、近傍の手の何キロだったのあったんですけども、一つ目の矢羽根と二つ目の矢羽根です、具体的な数字と具体的じゃない数字が書きぶりになってるので、
1:04:50	敷地近傍と書くんだったら括弧御社考えてんのは 20 キロ以内ですよとこういふ。明確に示していただいた方がいいと思いました。
1:05:00	あとは、58 ページは先ほどから議論がある通りで私も全く同様にここではねやっぱり
1:05:07	評価した結果、何が選ばれるんですかということ、最終的には決めていただく必要があるんで、その根拠がねしっかり書いていないと、そこから後で、例えば、S s と比較して基準地震動になるんですかならないんですかって議論になるはずなので、ここは
1:05:22	私たちはですねしっかりとした根拠が必要だと思っているので多分ああいうコメントをさせていただいてるんだと思いますんで、そこは
1:05:29	理解をしていただいた方がいいんじゃないかなと思います。
1:05:33	あと参考でつけていただいているところは確かに参考は参考なんですけど、まだねS s の議論をしていないし、これはどうしますかと、あってもいいですけどなくてもいいような気もしますし、
1:05:47	ミスリードにならない形で、つけていただくんだしたら、
1:05:52	位置付けをしっかりと、参考と書いてあるものね。もう明らかに要らないんだから、いいじゃないのっていうようにも見えるので、御社しっかりと評価をするということが我々の何つうかね、
1:06:05	基準適合を確認するという意味では、しっかりやっていただいた上で、最後どういうふうにな扱いになるんですかっていうのは、結果なので、途中まではしっかりやっていただく必要があるというのは、今回我々の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	審査の中での見る項目なのでそこはご理解いただいた上でこの参考の扱いについてを考えてみてください。
1:06:23	以上です。
1:06:28	すいません。東北電力広谷ですけども、今湯田さんの、
1:06:32	5市、コメン等の中です、一旦58ページ、先ほど佐藤さんからも重ねてありました。
1:06:40	評定とスペクトルに対しまして今一応段数と監査記録について、
1:06:47	今、一定の状況から一般に選んだような書き方をしておりますけども、ここはやはりガイドの趣旨からしますとやはり施設影響という観点から、最終的には選ぶべきだということ、
1:06:58	そういうしっかりした記載をすべきだというのは我々も理解しておりますので、そういった意味からしますとやはり、最終的にはある意味基準地震動との比較。
1:07:09	最終的にはこの後のステップです、そういう比較もするしますので、その時に、どういった我々最終的にどういう基準にどう使うか作るかまだ、
1:07:19	未定になっておりますけども、それとの関係も踏まえた上で、
1:07:24	切影響という観点も踏まえた上で最終的にどの波を選ぶっていうのをあまりしっかり変えた方がいいと思います。したので、58ページにつきましてはちょっと我々、
1:07:34	この段階でやはり難度がいいんじゃないかという最初考えもあったんですけども、施設影響という評価の段階で、最終的にきちんと選ぶってような趣旨のことをここにはちょっと記載する方向で修正させていただきたいと思っておりますけども、
1:07:49	よろしいでしょうか。すいませんという形ですけども多分ですね我々はまずここではですよ、一つに決めてくださいということだと思っておりますよ。おっしゃる通り施設影響という観点でいくと、先行サイトでも説明しているように主要動の継続時間が長いとかですね、
1:08:04	そういう理屈をしっかり書いていただくことが重要で、実際にどういうインパクトがあるってことまでを見せていただく必要はないと思っております。あと少し誤解があるのかもしれませんがこれはガイドでの記載ですかね。だったかと思っておりますけども、
1:08:20	複数の方法でちゃんとその辺内装が、ごめんなさい変な、その依存あるかないかっていうのをちゃんと両方で確認をした上で一つ決めてくださいということだと思っておりますよ。なので、残すのではなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:32	理屈をつけてここで1個に絞ってくださいっていうのは、多分、地震津波チームのリクエストだとそういう理解をしていただいた方がいいんじゃないかと思いますが、どうですかね。
1:08:44	PayPalです。了解しました。そうします先ほど例えばですね
1:08:51	監査記録を使ったものが非常に乱数一応ラスト似てるっていうことは、そういった意味では、例えば東通は特殊なやり方してないという簿価にも一つなっておりますけども、
1:09:02	そういった総合的な観点からしますとやっぱり、施設影響も踏まえると一般に絞ってもいいよという、少しこの辺そういった、
1:09:12	手厚くですね、作った。
1:09:16	ですね、傾向も踏まえた記載に少し充実させていただきたいと思います。
1:09:24	はい。少し頭の整理をした上でですね書いていただきたいんですけども今回例えば、プレート間地震まで広げて見いただいたんですけど本来の趣旨からいうとね内陸地殻内地震でやっぱりちゃんと比較をしておくべきなんで、
1:09:37	地震がなかったんで広げましたよという一つのやり方だと思うんですが、逆にねそのプレート間地震にした結果、先ほどのフィッティングの話が出てきたりしてしまうので、あまり本末転倒にならないようにですねまずは本来選ぶべきものなかったということも一つの私はセレクションの条件だと思ってますので、
1:09:54	その結果こういうことになりましたと。
1:09:57	いくつか、多分内野知、エイチームからもですねキーワード出たと思うのでそのあたりをうまく使ってですね、一つに絞るといところの理屈を考えていただければと思います。以上です。
1:10:10	はい、平です。はい。はい。了解いたしました。よろしく願いたします。
1:10:18	はい。大体議論はそんなところだと思うんですが、うちからは多分、以上になりますが、東北電力は何かございますか。
1:10:32	はい。戸村でございますこちら、はい。以上、こちらも特にございません。ありがとうございました。
1:10:51	はい。そんなところですが他に何か事務連絡その他何かありますかこちらから。
1:10:58	よろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:59	はい。以上になりますが、よろしいですか。
1:11:04	はい。
1:11:06	次の説明、何をするかということも含めてですね少し考えていただいた上で資料修正を進めつつ、今後の進め方について考えていただければと思います。よろしくお願いいたします。
1:11:19	はい、承知いたしました。よろしくお願いいたしますはい、じゃあほい以上で終了したいと思いますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。